

# 令和元年度 決算

一般会計歳出合計は  
**531億7,255万円**

財政課・☎2106

市の令和元年度決算がまとまり、9月に開かれた市議会で認定されました。

一般会計では平成30年度決算対比で歳入が1.2%、歳出が1.3%の増となりました。

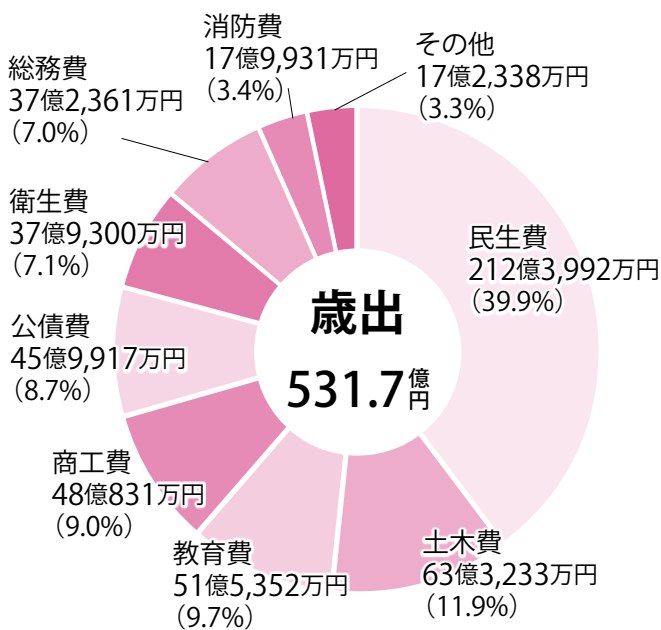
実質収支額は13億7,338万円の黒字で、5億円を財政調整基金に、2億5千万円を減債基金に積み立て、残りを令和2年度繰越金としました。

財政健全化法に基づく判断比率も、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

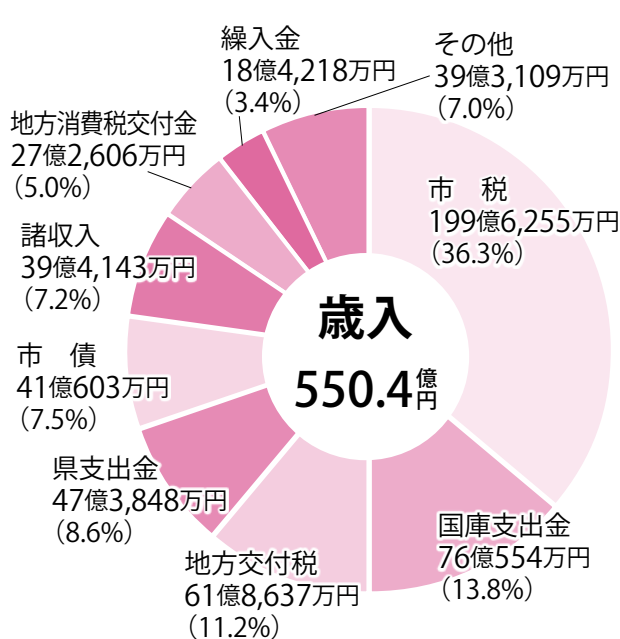
しかし、今後は新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な減収が見込まれます。歳入歳出ともに精査して、真に必要な事業が実施できるような財政運営に取り組んでいきます。

## 一般会計決算内訳

**歳出** 531億7,255万円  
 前年度対比 +6億5,866万円、+1.3%



**歳入** 550億3,973万円  
 前年度対比 +6億4,899万円、+1.2%



## 特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
介護保険(保険事業勘定)	128億6,617万円	127億1,348万円
国民健康保険(事業勘定)	153億9,649万円	153億9,371万円
後期高齢者医療	18億5,373万円	18億2,247万円
太陽光発電事業	6,210万円	5,754万円
農業集落排水事業	6,742万円	6,742万円
公共下水道事業	61億3,254万円	58億7,927万円
堀里ニュータウン下水処理事業	3,954万円	1,184万円

## 市民1人当たりの額(一般会計)

1人当たりが  
負担した額(市税)



14万621円

1人当たり  
に使われた額



37万4,560円

※差額の23万3,939円は、国・県の補助金や地方交付税などでまかなわれています。

## 令和元年度に取り組んだ主な事業

- ▶結婚・子育て・学びあいプロジェクト
- 放課後児童クラブの運営委託、運営費の補助など  
2億8,695万円
- 産婦健診、産後ケアの実施  
718万円
- こども医療費の現物給付対象拡大  
4億7,715万円
- ▶元気なしごとづくりプロジェクト
- あがた駅南産業団地の開発  
1億3,915万円
- 南部地域土地改良事業  
498万円
- ▶まちの魅力発信プロジェクト
- シティプロモーションの推進  
345万円
- 移住・定住相談センターの開設・運営など  
899万円
- 空家解体費補助金などの空き家対策費  
2,065万円
- ▶映像のまち構想プロジェクト
- ロケーション補助、あしかが映像まつり、ロケ地バスツアーなど  
1,703万円



▲JR足利駅構内の移住・定住相談センター

- ▶スマートウェルネスシティプロジェクト
- 健幸づくり推進事業  
268万円
- まちじゅう・スポーツ健幸ジム事業  
52万円
- ▶公共施設の最適化プロジェクト
- 生涯学習センター複合化整備  
4,764万円
- 小・中学校の水泳授業の民間プール等活用  
107万円
- 新焼却施設等建設事業  
1億5,990万円
- ▶その他(地方創生総合戦略事業など)
- 陸上競技場走路の全面改修  
2億2,555万円
- 国体に向けた硬式野球場の再整備  
1億2,499万円



▲立地企業の建設が続々と始まるあがた駅南産業団地



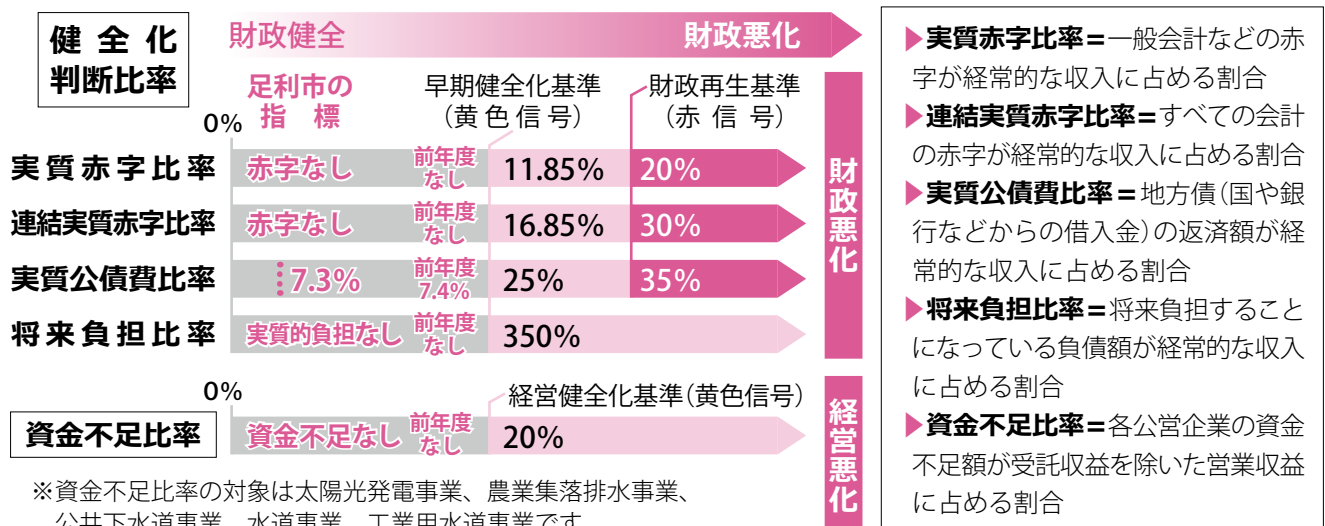
▲きれいに改修された陸上競技場走路



▲映像関連会社が市内業者に発注し建設された映画撮影の大型セット

## 健全化判断比率・資金不足比率

いずれの指標とも国の基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。なお、この指標は、基準より低い数値であるほど、財政状況が健全であると判定されます。



- ▶実質赤字比率=一般会計などの赤字が経常的な収入に占める割合
- ▶連結実質赤字比率=すべての会計の赤字が経常的な収入に占める割合
- ▶実質公債費比率=地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額が経常的な収入に占める割合
- ▶将来負担比率=将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合
- ▶資金不足比率=各公営企業の資金不足額が受託収益を除いた営業収益に占める割合